

空き町家再生の報告と支援のお願い

福岡県八女市 八女福島
【八女福島の町家保存・活用プロジェクト】

《2020年度の寄附募集の取組みの状況報告》 —平野家再生活活用事業への支援のお礼と事業概要—



福岡県八女市福島では、これまで約70軒の空き家を再生してきました。

昨年は、全国に寄附金を広く募集し、長期の空き家状態（放置家屋）で、1926年（大正15）築（主屋2階建、離れ平屋）の町家を、八女福島の応援者である平野龍平氏（一社・コレゾ財団代表理事）に購入してもらい、NPOまちづくりネット八女は、再生活活用について全面委託を受け、所有者に代わって再生修理及び活用を行う事業＝代行リノベ事業を選択しました。

同NPOは、株)NOTE八女と組んで、市の伝建保存修理事業の補助金を受け2021年2月から修理事業に着手し、2022年6月に町家ホテル「tsugu hotel 八女福島」(2室)としてオープン予定です。皆さまの支援に心から感謝いたします。

《2021年度の寄附募集の取組み》 —江崎家再生活活用事業への支援のお願い—



今回の町家（江崎家）は、旧大庄屋の屋敷だったであろう一角に存在する貴重な建物で20年ほど空き家となり老朽

化で雨漏りが酷く、住めなくなった状態です。所有者から何とかしてほしいと依頼を受けたNPOまちづくりネット八女が、所有者に代わり再生修理活用事業を行います。（移住者向け住宅として）

事業には、市から伝建保存修理事業の補助金がありますが、住めるように改修するにはかなりの資金が必要です。銀行の借入というリスクを背負いつつ挑戦していますが、これらの事業を継続させるには銀行の融資額を低減して、借手の負担にならない家賃の設定が重要です。

保存修理にあたっては、町家の価値を損なわないように、地元中心とした伝統建築集団と連携・協働して工事を行います。



○寄附目標金額：3,000,000円

○改修工事費金額：26,100,000円

○寄附募集期間：2021年11月16日～2022年2月14日

※事業成功に向けて、ふるさと納税を通じた寄附、又

は一般寄附に、皆様のご支援をお願いします。

* 一般寄附（金額は問いません）の場合は、以下の口座に振込をお願いします。振込後、Eメール、又は電話で住所とお名前を連絡いただくと助かります。

金融機関名：九州労働金庫 八女支店
口座名義：まちづくりネット八女（マチヅクリネットヤメ）
口座番号：（普通預金）6712430

email: bynrt982@ant.bbq.jp ☎:090-8413-6128

【八女市ふるさと納税の手続等について】

—「インターネットからの申込の場合」—

* ふるさと納税は、インターネットでの申込の場合、「**廃墟寸前！八女福島の町家保存・活用プロジェクト【第3段】**」を検索してください。

—「電話での問い合わせで、申込手続も可能」—

* 電話では、「**廃墟寸前！八女福島の町家保存・活用プロジェクト【第3段】**」へ寄附をしたいと伝えてください。カタログや振替等の用紙が送られます。

* お申込等の問合せ先

八女市ふるさと納税専用ダイヤル

☎:0120-285-195